

琉球新報

2008年(平成20年)

12月14日(日)

発行所 琉球新報社

郵便番号 〒900 8525

那覇市天久905番地

私書箱 〒900 8656

那覇中央郵便局私書箱15号

©琉球新報社2008年

THE RYUKYU SHIMPO

電子号外

米軍流弾が 車直撃

金武町伊芸

民家駐車場、ナンバー破損

ハンセンまで300メートル 県警、銃弾鑑定



銃弾と思われる金属が当たったナンバープレート。数字の「8」の横に、金属が貫いた痕跡が見える(伊芸区提供) 14日、金武町

【金武】十三日午後七時半ごろ、金武町伊芸区に住む建設会社従業員の玉城陽一さん(五)から、自宅の駐車場に止めていた乗用車のナンバープレートに銃弾のようなものがめり込んで壊されているとの通報が警察にあった。石川署が調べたところ、銃弾のようなものは長さ約四・五センチ、直径約一センチ、字光式ナンバープレートの表部分を貫通、裏側のプレートで止まっていた。米軍キャンプ・ハンセンからの流弾の可能性があり県警が銃弾を鑑定するなど捜査している。同演習場から現場までの距離は、最短で約三百メートル。

玉城さんは十三日午前七時ごろ



に、ナンバープレートに穴が開いているのを確認。何者かのいたずらかもしれないとみて、いったん仕事に向かい、帰宅後にナンバープレートを外して調べると、裏板の中に銃弾のようなものがめり込んでいた。

一方、十日午後三時半ごろ、玉城さんの祖母・ミツさん(七〇)がこの駐車場で作業をしていた際、「バーン」という大きな音を聞いた。同時に車付近から白い煙が出ていたという。ミツさんは周囲を確認したが、ナンバープレートの破壊には気付かなかつた。銃弾のようなものは、この時にめり込んだ可能性が高いとみられる。

伊芸区(池原政文区長)では一九八八年に酒造所や沖縄自動車道サーピスエリア、民家などでM16ライフル銃の弾頭九発が見つかるなど、復帰後も多くの流弾事故が発生。同区では十四日午後、緊急行政委員会を開き、委員が現場を確認したほか、地域住民にほかに流弾がないかどうか呼び掛ける。金武町の儀武剛町長は「強い憤りを感じる。けが人が出なかったのは奇跡的だ。事実確認が先決だが、区の反応を見ながら町民大会の開催を決めたい」と話した。